

<平成30年度 ハローオリンピズム事業>

オリンピック教室

実施報告書

埼玉県 川越市立霞ヶ関中学校





平成21年4月の学習指導要領の改訂以来、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されています。その中で、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容には、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」とオリンピックの意義が明示されています。そこで、JOCでは、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められており、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことのできない感動が生まれることを期待しております。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

また、「スポーツ基本法」の前文の一部には、「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習することで、この基本法に記された精神や態度が日常生活の中で具現化され、生涯にわたってスポーツに親しむことができるようになることを願っています。



- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成30年4月～平成31年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 60校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間（50分）



2時限目
座学の時間（50分）



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります



1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を受け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日：平成30年9月13日（木）

■ク ラ ス：2年1組（39名）、2年3組（39名）

■オリンピアン：佐藤 真太郎 先生（ボブスレー）【出場オリンピック／ソチ大会】



■授業のながれ：運動の時間（1時限、3時限）

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・自己紹介の後、オリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、技術を高めるためにベストを尽くす」「フレンドシップ＝友情、チームワーク」「リスペクト＝尊敬、尊重、ルールを守る」と説明し、この3つは非常に大切であり、今日はこれを意識して取り組んでほしいと伝える。
- ・準備体操後、じゃんけん勝抜け、陸上競技・短距離の練習メニューを実施した。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・バスケットボールコートのサイドラインに全員整列。中央の生徒がボールを持ち、ボールは右側の人のみに手渡しでき、生徒はコートのサイドラインを左側にのみ移動することができる。ボールがコートを1周して戻ってきたらゴールとし、タイムを計測した。

4. まとめ



- ・運動の時間を振り返り、生徒の取り組み姿勢が素晴らしく、皆でミーティングを重ねながらチームワークを発揮し、きちんとルールを守りながら頑張ることができていた。冒頭で話した「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」がしっかりと守れていたと総括。
- ・この時間で学んだことを今後の部活動や勉強、クラス運営にも活かせることであり、体育だけではなく様々なシーンで皆で相談・協力し、工夫をして、効果的・効率的な方法を考えながら取り組んでほしい。座学の時間ではオリンピックの歴史等についての講義を行うと予告し、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（2時限、4時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



- ・運動の時間を振り返り、スポーツはルールを守って楽しむことが大切であり、部活動やクラスの友達と楽しんで取り組むことを心掛けてほしいと話す。
- ・スライドを見せながら競技について解説し、今後オリンピックを観戦する時は、国内大会や世界予選を勝ち抜いた選手たちが戦う舞台だと思って見てほしいと伝え、自身の経験を交えてオリンピックバリューについて説明。

3. グループワーク



- 発問：クラスのために自分ができていることを考えてみよう。
 発表：各班の代表者1名が前に出て発表。（抜粋、順不同）
 全員が全力を出す(エクセレンス)、友達の相談に乗ってあげる(フレンドシップ)、人の話や意見を最後まで聞く(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・コーチに教わった格言を紹介し、苦しい時は立ち止まってもよいが、立ち止まってばかりでは夢は叶わない。毎日の積み重ねが将来に繋がる。ベストを尽くし、ルールを守って、感謝の気持ちを忘れずに毎日を過ごしてほしいと伝え、授業終了。

実施内容

■期 日：平成30年9月13日（木）

■ク ラ ス：2年3組（39名）

■オリンピアン：三井 梨紗子 先生（水泳・シンクロナイズドスイミング）【出場オリンピック／ロンドン大会、リオデジャネイロ大会】



■授業のながれ：運動の時間（5時限）

1. 自己紹介～授業の目的確認



・自己紹介の後、アーティストックスイミングとシンクロナイズドスイミングの2つは同じ競技であることを伝え、オリンピックバリューの「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」について学んでいきたいと授業の目的を説明。運動の時間は「明るく」「元気に」「全力で」取り組むという3つの約束事を設定し、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・8の字跳びを実施。ルール説明後、実施前に作戦・練習時間を設けた。
・三井先生から、記録が伸びたチームは「もっと前に寄って」「タイミングを合わせて」等の声がよく出ていた、と伝えられた。

4. まとめ



・運動の時間は疲れたと思うが皆が最後まで全力で頑張ってくれていた。自分のチームが、記録を伸ばすためにどのような作戦を立て、どのようなことに気を付けて臨んだのかを次の座学の時間までしっかりと覚えておいてほしいと伝え、授業を終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・オリンピックバリューについて学び、それを基に運動の時間を振り返る時間にしいたいと授業の目的を確認。
- ・オリンピックには、人々が人生をより良く生きる上で重要な3つの価値観(エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト)が掲げられており、それらをオリンピックバリューと呼ぶと伝え、自身の経験を交えて説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問：運動の時間を振り返り、オリンピックバリューについて考えてみよう。

発表：どんな時も諦めない心を持つ(エクセレンス)、仲間のことを考えて行動する(フレンドシップ)、当たり前のこと感謝する(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・オリンピック教室を通じて、オリンピックは自分と異なる世界の話ではなく、同じ世界の出来事であると感じてもらえたと思う。普段から3つのオリンピックバリューを大切に生活してほしいと話し、幾つかの質問を受け、授業終了。



■ 集合写真
2年1組



2年2組



■ 集合写真
2年3組



■ 記念品贈呈
2年1組



2年2組



2年3組



■ 修了証贈呈

